



平成 22 年 10 月 6 日

各 位

会社名 株式会社石井表記
代表者名 代表取締役社長 金尾 尚明
(コード番号 6336 東証第2部)
問合せ先 取締役IR室長 江田 利幸
(TEL 084-960-1247)

石井表記ソーラー株式会社における火災発生に伴う損害見込 および同社操業の一部再開に関するお知らせ

平成 22 年 9 月 7 日公表の「当社連結子会社における火災発生に関するお知らせ」のとおり平成 22 年 9 月 2 日に発生した当社連結子会社である石井表記ソーラー株式会社の排水処理棟の火災事故に関し、下記のとおり損害額を見込むことができましたのでお知らせいたします。

また、平成 22 年 9 月 10 日公表の「当社連結子会社の操業一時停止に関するお知らせ」につきまして操業一時停止の状況から進展がございましたので途中経過をお知らせいたします。

記

1. 火災発生に伴う損害の概要

この度の排水処理棟の火災により、建物の一部修繕、出火元と思われる機械設備、その装置に連結されていた排気設備およびその周辺に設置されていたリース資産である排水処理設備の一部が焼損いたしました。当該資産に対する損害の見込額の合計は、約 488 百万円となります。

なお、損害につきましては、付保している保険で補償されることにより、実質的な被害額は軽微に留まるものと判断しております。

資産の名称 (所在地)	資産の内容	損害の見込額 (百万円)
石井表記ソーラー株式会社 排水処理棟 (広島県福山市神辺町旭丘 52 番地 2)	建物 (注.)	24
	機械装置 (注.)	361
	リース資産	103

注. 同資産は石井表記ソーラー(株)へ賃貸している当社資産であります。

2. 今後の見通し

出火原因につきましては、様々な状況が積み重なったものと想定され、特定は困難なことから現在の仕組みのまま復旧させることはせず、併せて災害発生前以上の生産量にも対応できるように検討を進め、再発リスクの無い排水処理の仕組みを一から見直し、設備の発注を済ませ改修を進めております。

この新たな排水処理の全面稼動には 2、3 ヶ月の期間を要しますが、現在の復旧状況で 50% 程度の生産稼動が可能な状況となっております。これにより、平成 22 年 10 月 4 日より操業を一部再開し、現在、試験操業を行っており、生産量を徐々に上げ慎重に通常操業への影響を精査、検証しております。通常操業の再開時期および操業の一時停止に伴う業績への影響、通期業績予想につきましては、確定次第、速やかに公表いたします。

以 上